

# 夏休みを有意義に過ごそう

## 積極的にチャレンジを



学生部長 阿藤 正道

前期試験が終わり、待ちに待った夏休みとなった。大学生の特権ともいえる長期の休暇を有意義に過ごしていただきたい。卒業して社会人となればこのような長期の休暇をとる機会はないであろう。国内外の探訪など普段できないことに積極的にチャレンジしてほしい。長い夏休み期間中、事件や事故に巻き込まれることがないよう十分に注意していただきたい。近年、急激な気候変化により自然災害に巻き込まれるケースも増えている。海や山に出かける際にはあらかじめ十分な計画と準備をし、決して無理な行動をとらないことが大切である。

安全確保に十分配慮していただきたい。マナー守って 合宿などでお酒を飲む機会も増えるが、未成年の飲酒、一気飲み、飲酒の強要などは絶対にやめていただきたい。マナーを守って楽しく安全にお酒を楽しみたいものである。

◆◆◆

また世界の各地でいわゆるソフトターゲットを狙ったテロ事件が続発している。海外に渡航する場合は外務省海外安全ホームページなどから渡航先の最新情報を入手するなど、



### 学生部

#### 適正飲酒

#### 啓発セミナー

#### サッポロビール

「酒活」の準備はしっかりとして。

学生部とサッポロビールは7月14日、生田キャンパスで適正飲酒啓発セミナーを開催した。合宿や旅行などで飲酒の機会が増える夏休みを前に、正しい飲酒の知識を身につけてもらおうと、昨年度の適正な飲み方をレクチャーした啓発セミナーを開催した。

200人を超える学生が参加。サッポロビール総務部の酒井洋シニアマネージャーが講師を務め、酔いのメカニズムや、お酒に強い人と弱い人の特徴などを分かりやすく解説。未成年の飲酒と一気飲みは絶対だめ」と呼び掛けた。また社会に出てから役立つお酒の席のマナーなども教示した。

### ベトナムへ行く

#### 参加者説明会

学生部は春期休暇中に実施する2016年度学生部セミナー「ベトナムへ行く」の説明会を9月、神田・生田の両キャンパスで開催。

セミナーではベトナムと台湾を交互に訪れ、現地の国際交流協定校で学生と交流、語学研修に参加する。本年度はベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学を訪問する。期間は2017年3月1日(水)～10日(金)。募集人数は20人。参加費の一部を大学が補助し、個人負担は11万～13万円。説明会では一昨年にベトナムを訪問した学生の体験談や、留学生によるベトナム紹介などがある。生田キャンパスは9月28日(水)12時20分から、10305教室で。神田キャンパスは9月29日(木)12時20分から、206教室で開催する。昼食持ち込み可。 園学生生活課(生田) ☎044・911・1267



前回の「ベトナムへ行く」の様子=2015年3月

参加した学生は「女性に男性より肝臓が小さい心がない」と話して初めて知った」と話した。

### キャンパス情報

学生部 自己表現&ボイストレーニング講座  
元ラジオパーソナリティーが腹式呼吸や発声方法を指導。初対面の人と話す時や就職の面接などに生かせる自己表現力を身につける。  
▽日時 9月15日(木)13時30分～▽場所 神田キャンパス571教室  
▽募集期間 9月21日(水)～10月5日(水)▽審査 1次(書類選考)、2次(面接)▽奨励金 学生部  
▽日時 9月27日(月)22日(毎週火曜日、全9回)16時35分～▽場所 生田キャンパス411教室▽講師 川崎市ろう者室乗務員訓練教官、イメーJシコンサルタント・大1・1267

学生部 海外での調査活動、ボランティア、学会参加、ランテア、学会参加、スポーツ交流試合などが対象。審査の上、大学が渡航費用の一部を奨励金として補助する。個人、団体での応募可。  
▽日時 9月27日(月)22日(毎週火曜日、全9回)16時35分～▽場所 生田キャンパス92B会議室▽講師 元JAL客室乗務員訓練教官、イメーJシコンサルタント・大1・1267

学生部 印象アップのための講座  
▽日時 11月10日(木)16時35分～▽場所 生田キャンパス411教室▽講師 川崎市点訳グループ「木の芽会」代表・天木佐代子氏▽定員 15人(先着)▽参加費 無料

学生部 点字講習会  
▽日時 11月10日(木)16時35分～▽場所 生田キャンパス411教室▽講師 川崎市点訳グループ「木の芽会」代表・天木佐代子氏▽定員 15人(先着)▽参加費 無料

### 寄付の4氏に感謝状

「専修大学創立140年・石巻専修大学創立30年記念事業募金」で多額の寄付をいただいた4氏に日高義博理事長から感謝状が贈られた。7月下旬、感謝状を贈呈されたのは乾吉佑名誉教授、「社会知性の開発」に共

感し、「学生が社会知性を学び、地域社会で生かしてほしい」と期待した。甘竹名誉会長は「校友同士が協力して、大学に寄付できるシステムを作りたい」と話した。

星野さんは学生時代、少林寺拳法部で切磋琢磨、現在は同部OBでつくる緑拳会の会長を務める。同部の元主将で卒業後は監督も務め、2014年に亡くなった難波良文さん(昭46経営)から、専大への寄付を託されたのが横田さんだ。

難波さんは6年前に病に倒れ、郷里の香川県に転地療養。闘病中も大学や部のことをしきりに気にしていた。

日高理事長から「卒業生の支援は心強い」と謝意を寄せられた2人は「故人も喜ぶと思う。寄付はキャンパス整備、スポーツでの活躍や学生の新鮮なアイデアを支えるなど、有効的に活用してほしい」と語った。

感謝状を受け取る乾名誉教授(左) 7月20日

甘竹校友会名誉会長(右)と日高理事長 7月20日

星野さん(左)と横田さん 7月29日

### 募金局からのお願い

専修大学は2019年に創立140年を迎えます。また、石巻専修大学も18年に創立30年を迎えます。学校法人専修大学では、さらなる飛躍と発展を期すため「専修大学創立140年・石巻専修大学創立30年記念事業募金」(募集期間5年間)を設け、広く募集を行っています。

併せて熊本地震で被災した専修大学及び石巻専修大学に在籍する学生に対し、奨学金及び生活支援金等として「被災学生支援金」も募集しております。

皆様方の温かいご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

お申し込み、お問い合わせは「専修大学募金局」(☎03・3265・3157)へお願い申し上げます。